

2024年度第2回学習会を開催しました



2024年12月5日(木)秋田市イヤタカを本会場に県内全5会場をオンラインで結び、組合員・役職員77名が参加しました。

東日本大震災語り部 菊池のどか氏による「つなみの記憶～中学生だった私の体験談～」と秋田県防災アドバイザー渡部健悦氏による「災害への備えなどについて」の講演を行い、近年激甚化・頻発化する自然災害への心構えを学びました。



山野内雅志会長理事



菊池のどか氏

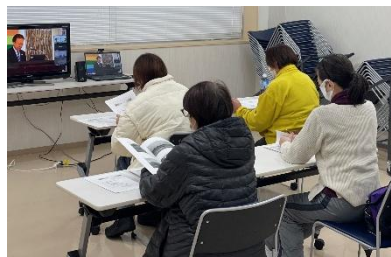


本会場の様子

岩手県釜石市出身の菊池氏の講演では、中学生のときに経験された東日本大震災当時の緊迫した避難の様子や、避難所生活での辛い体験についてもお話いただきました。地元の大学で防災について学ばれ、現在はその貴重なご経験を伝える語り部として防災意識の普及啓発活動に尽力されています。東日本大震災が発生し今年で13年が経ちましたが、震災を風化させることなく、しっかりと災害への心構えをしておくことが大事だというメッセージを伝えてくださいました。



渡部健悦氏



能代センター会場の様子



由利センター会場の様子

元秋田県警警察官で、現在秋田県防災アドバイザーとして防災活動を支援されている渡部氏は、日本海中部地震発生当時、男鹿市の駐在所に勤務されていました。地域の治安維持に懸命に努めながらも甚大な災害を経験された貴重なお話のほか、アプリやハザードマップを活用すること、避難所の特徴を把握しておくことなど、多くのアドバイスを頂戴しました。いつ、どこで起きるかわからない災害に対し「自分と家族の命を最優先に、自分の身は自分で守ること」「防災グッズやハザードマップ、避難場所の確認など、災害に対する備えと準備を徹底すること」等、アドバイス頂きました。

秋田県・秋田市へ 2024年度上期事業を報告しました

12月19日(木)に秋田県生活環境部、秋田市市民生活部へ訪問し、県生協連の上期の活動や会員生協の動向について報告しました。今後も行政や会員生協と連携し、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献できるよう取り組みを継続していきます。



県と市へそれぞれ報告する阿部一哉常務理事